

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『文系と理系はなぜ分かれたのか (星海社新書 137)』 隠岐 さや香/著 星海社 2018. 8 002/杵 188/
皆さんは「文系」「理系」というとどのようなイメージがあるでしょうか。調べてみると、「文系は～」「理系は～」という意見のほか、「文系と理系の違いがあるのは日本だけ」といったような声もあります。

本書では、こうした議論を、科学史の観点からそもそも「文系」「理系」という区別が何故生まれたのか? というところまで掘り下げて探ります。国内・国外問わず、ほとんど研究例がないという、身近にありながら挑戦的なテーマを取り扱った一冊です。

『東西ベルリン動物園大戦争』 ヤン・モーンハウプト/著 CCCメディアハウス 2018. 9 480. 76/枚 189/
冷戦下のドイツ、東西に分かれたベルリンには、東西それぞれに動物園がありました。西のベルリン動物園と東のティアパークです。2つの動物園の園長は、お互いに相手を強く意識し、競い合っていました。第二次世界大戦後、長く続いた冷戦時代における2つの動物園の歴史と、関わってきた多数の「動物園人」たちの奮闘を描くノンフィクションです。

『くらべる日本 東西南北』 おかべ たかし/文 東京書籍 2018. 8 361. 42/杵 188/

皆さま、今年も秋の芋煮会を楽しまれたでしょうか。有名な話かもしれませんが、山形市と仙台市ではかなり芋煮の中身が異なるそうです(本書 28 ページより)。山形では牛肉&醤油、仙台では豚肉&味噌の芋煮が紹介されています。そもそも東北出身以外の人には、「芋煮」というものの存在を知られておらず、驚かれることもあります……。

さて、本書はそうした日本国内の文化の違いを対比させ、写真入りで紹介した1冊です。

福島県からは、会津若松市のソースカツ丼がエントリー(?)。果たして対するの? ページをめくってぜひご確認ください。

児童・児童図書研究

『フローラ (SUPER! YA)』 エミリー・バー/作 小学館 2018. 2 933/ハエ

YA(ヤング・アダルト)という言葉を知っていますか? 図書館では、概ね12~18歳の世代を指します。この本はYA小説——YA世代を対象とした小説です。

主人公は、脳機能に障害があり記憶を短時間しか保てない17歳の女の子。でも、ビーチで男の子とキスをして、恋に落ち、そのことだけはずっと覚えていられたのです! 彼がいれば記憶を留められるのだと信じ、彼の引越先の北極圏まで一人で向かいますが…。

自立や自己の発見といったテーマが多いのも、YA小説の特徴の一つです。大人が読んで大丈夫。YA小説の魅力に触れてみませんか?

雑誌・新聞

2018年のノーベル医学・生理学賞をテキサス大学教授のジェームズ・アリソン博士と共に受賞した京都大学特別教授の本庶佑博士。免疫を抑えるしくみの発見とそれを応用したがん治療法を開発しました。がんの「第4の治療法」として広まっている治療薬「オプシーボ」や研究について書かれている雑誌を紹介します。最新号以外の雑誌は借りることもできます。

『エコノミスト』 第96巻第44号, 通巻4575号, 2018. 11. 13日号 Z330. 5/E1

特集: がんに勝つ薬

『Newton』 第38巻第12号, 2018年12月号 Z405/N1

特集: 最新科学にもとづく食と健康の正しい知識/本庶佑博士がノーベル賞! がん免疫療法とは?

『日経サイエンス』 第48巻第12号, 通巻570号, 2018. 12 Z405/S3

特集: 新・人類学 ヒトはなぜ人間になったのか/本庶佑氏ノーベル賞 ノーベル賞特集 がん免疫療法革新もたらした基礎研究

地域

『随想「見知らず柿」のように 日本のナイチンゲールと言われた人 瓜生岩子』 大平みや子/著 創英社 2018. 6 L289/U1/21

瓜生岩子は、文政12(1829)年喜多方に生まれた日本における社会事業の先駆者であり、女性として最初の藍綬褒章を受賞した人物です。

この本は、福祉という言葉のない時代に、貧者救済に全生涯をかけた人生をわかり易く伝えていきます。新島八重と同じ時代に会津に生きた人物であり、福島県民には、広く知ってもらいたい人物の一人です。

飢えで苦しむ時代に、くず米と麦芽から水飴をつかって子どもに与える話は有名です。当館所蔵の『ねがいは水あめの詩に』(わだよしおみ/作)もあわせてご覧いただければと思います。

『世界一のメンタル』 白石豊/著 アチーブメント 2018. 8 LA780. 7/S1/5

2017年のレッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップで、アジア人初のワールドチャンピオンに輝いた室屋義秀。彼が世界一を勝ち取るまでには数々の精神的苦闘がありました。時速370kmの世界への恐怖・緊張、資金難による将来への不安……数々のプレッシャーに苦しむ彼を変えたものは一体何だったのか? その時々室谷の心境と、彼を支えたメンタルコーチである著者の目線から、世界一への道りが描かれた1冊です。